

中野市北部地区小学校統合準備委員会だより

..2020年4月の開校目指して..

第10号 平成30年7月 中野市教育委員会

平成30年7月12日(木)に、第5回中野市北部地区小学校統合準備委員会が北部公民館で開催され、各部会から検討結果の報告をいただき、それぞれ確認されました。

◆総務部会の報告◆

4月25日(水)、6月7日(木)に開催した主な内容は次のとおりです。

【校章】

応募いただいた校章デザインは、226点ありました。一次審査(総務部会)で6点を選考しました。

二次審査は、各部会長と外部審査員で6月26日に審査会を行いました。決定に至らず、再度、審査会を開催することになっています。

なお、小学生からの応募作品が多数あったため、審査の結果、小学生作品には優秀賞2点、努力賞4点を表彰します。

◆施設部会の報告◆

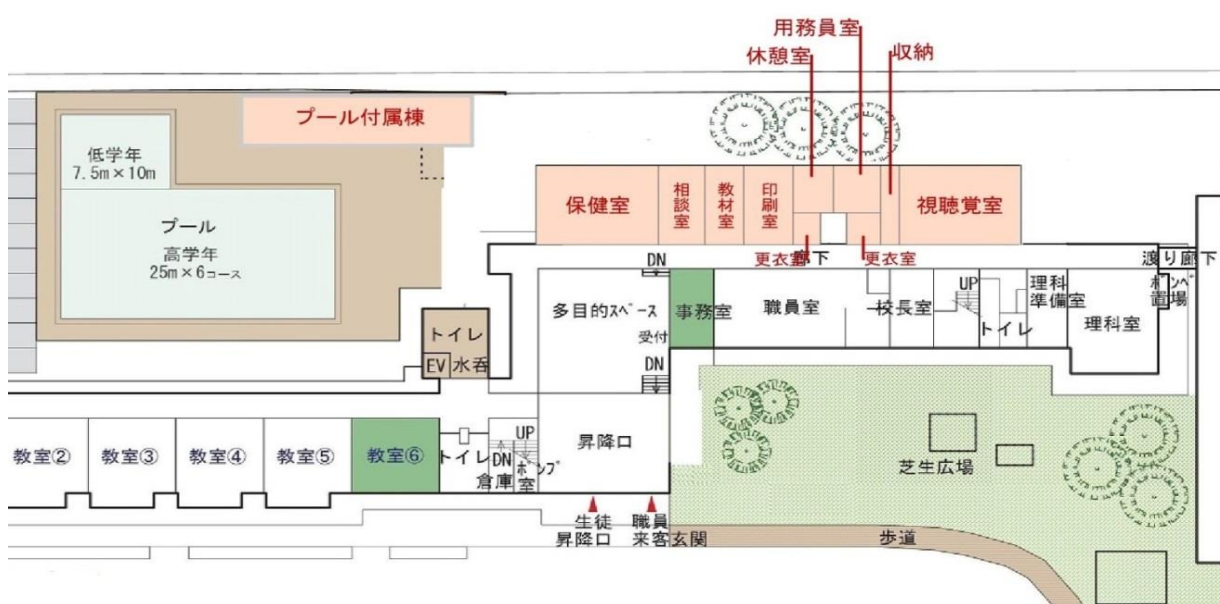
4月25日(水)、6月6日(水)に開催した主な内容は次のとおりです。

【施設整備・スケジュール】

平面図により現地で設計業者から直接説明を受け、職員室北側へ増築する建物の照度や通風の確認、工事の際の授業への影響等について意見・要望等を設計業者へ伝えました。

★7月12日の準備委員会へ報告した際の、主な意見等は次のとおりです。

- ・正門について、学校へ入るメインであり、新しい学校のイメージづくりのためにも、相応のものをつくってほしい。



◆通学・安全部会の報告◆



4月25日(水)、7月3日(火)に開催した主な内容は次のとおりです。

P T A役員説明会で出された意見に対する課題について、検討し次のとおり確認等を行いました。(抜粋)

意見：飯山から高校生が乗って、その後中学生が乗ってくるので小学生は座れない、また、座れない中、停まったりしたときに怪我をする可能性がある。

回答：公共交通は法的に厳しく安全対策は万全であると考えます。また、必要に応じ座席数の多いバス導入の検討を事業者に要求する。

意見：低学年と高学年を分けた理由は、

回答：準備委員会で課題の整理などを行う中で、特に座れない場合や、大きな荷物を持った際の低学年児童の負担軽減を図るため。

意見：公共交通の要望として、学校で乗降して元の路線に戻ることが可能ならやってもらいたい。

回答：事業者に要望する。

意見：長丘小を出発する時間が早いため、遠い児童は少し厳しいのでは。

回答：検討した結果、7時20分と7時43分出発とした。

意見：バス通学において、兄弟で公共交通バスとスクールバスに分かれるというケースもあるので、兄弟がまとまって動けた方が保護者も安心するのでは。また、全員同じバスであれば登校班もあるので6年生が1年生の面倒をみながら、バス停までしっかり行けると思う。

回答：登校時における公共交通のバスとスクールバスの出発時間の差は10分弱であるため、登校班としての通学は可能である。

意見：バス通学による体力低下については保護者が考えればいいのでは。

回答：関係者全体で検討すべき事項と考える。

※公共交通機関の安心・安全に関する調査結果：「路線バス」「ふれあいバス」「お出かけタクシー」「保育園・スクールバス」の比較についても、説明が行われました。

★7月12日の準備委員会へ報告した際の、主な意見等は次のとおりです。

- ・徒歩通学について、どこが通学路になるのかわからないので、徒歩の通学ルートも示してほしい。
- ・公共交通機関の利用に際し、保護者が納得するよう慎重に検討してほしい。

◆教育部会の報告◆

5月16日、6月6日、6月27日、7月2日に部会とその下部組織である係会を開催し、合同授業の計画や教育課程の検討、備品の移管等について検討を進めてきております。

◆当面の予定◆

7月31日	高社小学校P T A設立準備会 設置予定
7月31日	高社小学校施設整備に係る建築確認 申請予定
7月下旬から8月	校章デザイン最終審査
9月	高社小学校施設整備 工事着手

